

地域の歴史①「原始・古代」

この地域にいつごろから人々が住むようになったか？低地の部分は、鬼怒川や田川の流
れの変化に伴い集落の位置も変化しているため、はっきりしたことはわかりませんが、西
側の台地部分には、寺野東遺跡や西高橋遺跡があります。

寺野東遺跡では、工業団地造成に伴う発掘調査により、今から約3万2千年前の地層か
ら旧石器が発見されているほか、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の
集落の跡が見つっています。特に、縄文時代後期（今から4千年前～3千年前）に、近
くの谷からわき出た水を木の実のアク抜きなどに利用したと思われる「水場遺構」や長期
間にわたる土木工事によってつくられた巨大な「環状盛土遺構」など、縄文時代の貴重
な遺跡であることがわかり、1995年（平成7年）に、国の史跡に指定されました。

その後、史跡公園として整備され、2004年（平成16年）に「おやま縄文まつりの
広場」として開園し一般に公開されています。



資料館



水場遺構



環状盛土遺構

また、梁、西高橋にかけての田川西岸に延びる台地部分には
多くの古墳がつけられました。栃木県下都賀郡教育会・同町村
長会・同小学校長会が1946年（昭和16年）に実施した「紀
元2600年記念古墳調査」によると、37基の古墳が確認さ
れていましたが、現在では工業団地の造成等よりほとんど消滅
しています。福良小学校にも戦前に付近の古墳から出土した直
刀や土器が寄贈されたという記録が残っていますが、現在その
行方はわかりません。



台地上にわずかに残る古墳群



高橋神社

今から約千年ほど前の平安時代の延長5年（927年）
にまとめられた『延喜式』の巻九・十の延喜式神名帳には、
当時「官社」に指定されていた全国の神社一覧が記され、
これらの神社は式内社とも呼ばれ、古い伝統と格式を誇っ
ています。この中に下総国結城郡「高橋神社」の名前も記
されています。（なお、福良小学区は、江戸時代の元禄年間
に下野国都賀郡になるまで、長い間、下総国に属していま
した。）